

# わかやま

No.27

和歌山県精神保健福祉センターだより 2006年5月

## 「県障害福祉課長に就任して」

和歌山県福祉保健部福祉保健政策局障害福祉課長 榎本 芳人

平成18年4月に和歌山県障害福祉課長に就任いたしました。和歌山県においては、3月まで、精神保健福祉に関しては福祉保健部内の健康対策課において担当していましたが、4月から障害福祉課が担当することとなり、身体障害、知的障害と合わせて精神障害についても障害福祉課において一元的に担当する体制となりました。

この4月からの障害福祉課の最大の課題は、障害者自立支援法の円滑な施行です。障害保健福祉施策については、平成15年度からいわゆる支援費制度が導入され、利用者自らがサービスを選択し、事業者と直接に契約することとされました。しかし、精神障害者は支援費制度の対象となっていないなど、障害種別によって障害福祉サービスの体系や公費負担医療の利用の仕組みが異なっていました。障害者自立支援法に基づく新たな障害保健福祉施策の体系の下では、障害福祉サービスに関し、実施主体を住民に最も身近な市町村を基本とする仕組みに一元化するとともに、従来、身体障害、知的障害、精神障害と障害種別ごとに分かれていた制度を一元化することにより、現在支援費制度の対象外となっており今後の支援が必要な精神障害者などに対するサービスの充実を図り、都道府県の適切な支援等を通じて地域における一定のサービス水準の確保を図ることとされています。また、同じく障害者自立支援法の施行により、施設・事業体系に関して利用者本位のサービス体系への再編がなされるとともに、障害者に対する就労支援の強化、障害福祉サービスの支給決定の透明化及び明確化、障害福祉サービス等の費用を皆で負担し支え合う仕組みの強化が図られることとなっています。障害者自立支援法の施行にあたっては、既存の施設・事業の新体系への円滑な移行や、利用者負担の状況も含めたサービス利用者や市町村の状況把握、新制度のさらなる周知等が具体的な課題となってくると思いますので、しっかりと取り組んでまいりたいと思います。

その他、精神保健福祉の分野においては、精神障害者の社会参加に向けた支援、社会的ひきこもり者社会参加促進、精神科救急医療システムの円滑な運営等が課題であると認識しています。また、平成18年度からの新たな事業として、大地震等の重大な災害・事故後の「こころのケア」に係る初期対応体制を整備するための「こころのレスキュー隊」設置に係る取り組みを進めてまいります。

最後になりましたが、少し私自身のことについて申し上げたいと思います。私は、平成6年に旧厚生省に入省以来、旧厚生省及び厚生労働省において社会保障・社会福祉に関する業務を担当してまいりました。障害福祉課長就任直前の平成18年3月までは、雇用均等・児童家庭局総務課虐待防止対策室において、児童虐待防止に向けた施策に取り組んでおりました。これまで和歌山県には縁がありませんでしたが、これを機会に和歌山県のいろいろな事物に触れたいと思っています。今後とも関係者の皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### もくじ

- P 1 障害福祉課長に就任して
  - P 2/3 いっぱい / ポラリス
  - P 2 新刊図書・ビデオ
  - P 5 メンタルヘルスニュース
  - P 6 は一とふるネットワーク
- 「紀南障害者地域生活支援センター 北山雅史さん」  
研修のお知らせ

和歌山県精神保健福祉センター

〒640-8319 和歌山市手平二丁目1番2号 県民交流プラザ“和歌山ビッグ愛”2階

☎ (073) 435-5194 FAX (073) 435-5193

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/050300/050301/index.htm>

このコーナーでは、シリーズで県内の組織やグループの活動を紹介します。

# いっぽ会

私たち「いっぽ会」は、初めに御坊保健所の事業のなかで精神障害者が日高地方で同じ障害者が集まり、お互いの病気と闘い、また同じ病気について語り合い、心のケアをはかる目的をもって設立しました。

また、同じ障害を持つ者が社会復帰する最初の「いっぽ」である「会」ということで「いっぽ」と名づけられました。

メンバーも少しずつ増えてきて、現在22名の利用者がいます。

月曜日から金曜日まで作業活動を行っています。火曜日はメンバーのレクリエーションでカラオケ、料理などを行っています。

木曜日はテーマミーティングで、あるテーマについてみんなで討論したり、翌日のスケジュールを決めたりします。

独自の活動内容は、和歌山県精神障害者団体連合会で、人権110番のピュアカウンセリングをおこなったり交流会や勉強会も同時に行っています。

私たちは、おのおの利用内容はまちまちですが、同じ心の病を持つということから、生活のことなども話をしています。

そこで、作業所がどういう場所であり、これからどういう場所か課題も持っています。まず、参加人数が少しずつ増えていき、現在の施設では狭くなり、もっと作業効率を上げるためもっと広い場所を提供してもらいたいと思います。

各メンバーの共通の問題を抱えていることとして、つぎの4つの問題点があります。

1. 働く場所の確保と役割として、作業所での、リハビリステーション、更に農園やシャベローゼでの就労実習、本格的に社会復帰をめざした一般就労など、まだまだ未整備です。

2. 一般健常者と違って、日常の生活として、家族とのコミュニケーションで、病気の理解がうまくできなかったり、一人暮らしで不安になることがあります。

心の疲れから来る体調の変化は、症状が各自違いますが、深刻な問題となっています。

休日の余暇の中でもメンバー同士の心のふれあいを持って、一緒に行動をしています。

そうでもない人たち、各自趣味を生かして楽しんでいます。

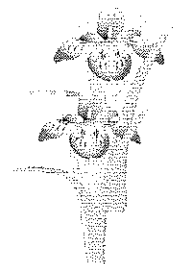
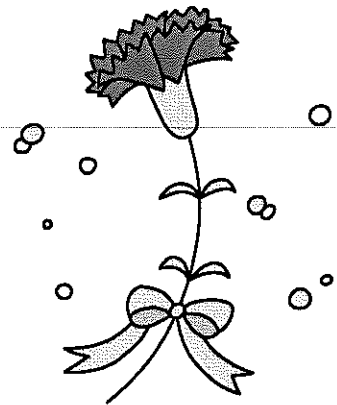
3. 所得についてですが、安定してできそうな仕事をもっと増やして所得も増やしてほしいです。

4. 相談について、10年前は、医師と看護師としか、心の悩みを聞いてもらえなかった。

そして、数年後、デイケアという同じ心の病の人たちが集まり、悩みを打ち明け、レクリエーションを楽しんだ。現状では、心の相談の窓口として、専門的な人がいつでも対応してくれる人の時間帯がまいになりがちで、心のケア的なアドバイスを常にする所がほしいです。

以上、私たちの願いとして、この地域に当たり前に暮らすには、より一層の要望を満たす場所、そして環境づくりをしていく必要があります。

地域の一員として、偏見や差別がなく、安心して生活できるよう願っています。



## 精神保健福祉センター書籍/ビデオ一覧

最近、購入した書籍・ビデオの一覧です。ご希望の方には貸し出しをします。

### ( 書籍 )

	書籍名	著者	出版社
1	ソーシャルワーク実践スキルの実証的研究	福島喜代子	筒井書房
2	よくわかるファミリーソーシャルワーク	喜多祐荘	ミネルヴァ書房
3	子どもの精神科	山登敬久	筑摩書房
4	怒りをコントロールできない子の理解と援助	大河原美以	金子書房
5	子育ての発達心理学	陳省仁	同文書院
6	無気力な青少年の心 無力感の心理	大芦治	北大路書房
7	キレル青少年の心 発達臨床心理学的考察	宮下一博	北大路書房
8	パニック障害	平木英人	保健同人社
9	暴力家族で育ったあなたへ	日本トラウマ・サバイバーズユニオン	解放出版社
10	ストレス丈夫になりたいあなたへ	ジョージア・ウイトキン	恒文社21
11	他の誰かになりたかった	藤家寛子	花風社
12	精神保健福祉白書 二〇〇六年版	精神障害者社会復帰促進センター	中央法規
13	精神障害者の為の就労支援ガイドブック	野中猛	金剛出版
14	学校トラウマと子どもの心のケア 実践編	藤森和美	誠信書房
15	学校コミュニティへの緊急支援の手引き	福岡県臨床心理士会	金剛出版
16	心的トラウマの理解とケア	金吉晴	じほう
17	教師のための学校危機対応実践マニュアル	上地安昭	金子書房
18	借金力	吉田猫次郎	文芸社
19	自殺の心理学	高橋祥友	講談社現代新書
20	自殺は予防できる	本橋豊	すびか書房
21	実践家のための認知行動療法テクニックガイド	坂野雄二 監修	北大路書房
22	エンパワメント 実践の理論と技法	小田兼三	中央法規
23	10代のメンタルヘルス 全10巻	汐見稔幸 監修	大月書店
24	なぜ自分を傷つけるの？リストカット症候群	アリシア・クラーク	大月書店
25	福祉制度の手引き 2005版	全国精神障害者家族会連合会	全家連
26	管理・監督者のためのメンタルヘルスケア	田中克俊 監修	アスパクリエイト
27	みんなで取り組むメンタルヘルスケア	田中克俊 監修	アスパクリエイト

### ( ビデオ )

	ビデオ名	制作者	制作会社
	職場再点検シリーズメンタルヘルス編		
1	チェックしよう！あなたの職場	梅垣和彦 監修	アスパクリエイト
2	心の不調の気づき方	梅垣和彦 監修	アスパクリエイト

和歌山県発達障害者支援センター

## ポラリス

ポラリスは、社会福祉法人愛徳園が和歌山県の委託を受けて設置した機関です。平成17年に『発達障害者支援法』が施行され、各都道府県に発達障害者支援センターを設置することとなりました。

発達障害とは、自閉症をはじめとする広汎性発達障害、学習障害(LD)、注意欠陥・多動性障害(ADHD)を指しています。発達障害は脳の機能障害が原因といわれています。生まれつきコミュニケーションや行動に問題があり、日常生活や学習、対人関係がうまくいかない方たちです。ことばを話せても(話さない方もいます)相手の言っていることがよく理解できない・相手の気持ちが理解できない<広汎性発達障害>、知的発達の遅れはないのに読み書き・計算がうまくできない<LD>、何かをしていてもすぐに気が散ってしまう・落ち着きがない<ADHD>、などの症状があります。発達障害は特性を正しく理解し、個々に合った支援をすることにより、問題を軽減し様々な力を身につけることが可能です。

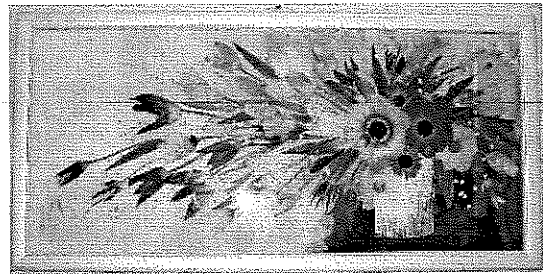
ところが、一見他の人たちと変わらないために、幼少期から「生きづらさ」を感じながらも、周囲に理解されずに適切な支援が受けられないまま大人になってしまう方も多いです。思春期までに受けた厳しい躰、友達からのいじめ、過度な社会適応への重圧は、自己評価を大きく下げ、不登校、学校中退、引きこもり、自傷行為などの二次障害を引き起こしてしまいます。

発達障害者支援センターはこのような支援の谷間に置かれていた方たちの相談支援、早期発見・早期療育、発達障害の普及啓発に努めます。

ポラリスで行っている主な事業は相談支援・コンサルテーション・普及啓発及び研修です。

相談支援は発達障害のご本人やご家族、支援者に対し、助言・情報提供・関係機関の紹介を行います。相談形態には電話相談や来所相談、FAXやe-mail相談があります。来所相談は予約が必要です。多いのは「うちの子は発達障害ではないか」「自分は発達障害ではないか」という未診断の方のご相談や、発達障害と診断された後のご相談です。発達障害について説明したり、診断や療育を行っ

ている機関を紹介したりしています。また、家庭での具



体的な支援方法や困った行動に対する対処方法をお伝えします。

コンサルテーションは発達障害児者が利用している保育・教育・福祉・医療等の関係機関や企業を訪問して助言を行う事業です。必要に応じて訪問先の職員に研修も行います。乱暴なことばや行動がどんな場面で起こっているか、そのとき発達障害児者は何で混乱していたのか、どうすればそのような言動が防げるか等を訪問先の職員と一緒に考えます。

普及啓発及び研修は発達障害に関わる団体等が主催する講演会や研修会にポラリスのスタッフを講師として派遣する事業です。親御さんの勉強会や施設職員の研修会に呼んでいただいています。

和歌山県全域が対象となりますので、コンサルテーションや講師の依頼があればどこにでも行きます。開所して半年、相談を受けながら利用者のニーズを探ってきました。平成18年度からはそれらを形にすべく、コンサルテーションや青年・成人期支援により一層力を注ぎたいと考えています。

『ポラリス』と聞いて「もしや?」と思われる方もいらっしゃるかもしれません。そうです、あの某韓国ドラマに出てくる『ポラリス』と同じ意味です。私たちスタッフは発達障害のご本人やご家族、またそれに関わる方たちの『道しるべ』でありたいと思っています。

## ポラリス

所在地: 〒641-0044

和歌山市今福 3-5-41 愛徳医療福祉センター内

TEL : 073-413-3200

FAX : 073-413-3020

e-mail: polaris@jtw.zaq.ne.jp

HP : <http://www.eonet.ne.jp/~aitoku/po-main.htm>

電話受付時間 10:00~16:00 相談は無料です。

県内の精神保健福祉関連の最新情報と当センターの活動をお知らせします。

## 研修

### SST研修

精神保健福祉関連の専門研修としてSST研修を1月26・27日ビッグ愛にて開催しました。SST普及協会の岸本徹彦先生を講師に3度目の初級研修会となりました。医療機関、福祉施設の職員等25名が終了しました。当研修を通して総75名の初級修了生が県内の現場で活躍されています。今後のSSTの発展に役立つ研修も考えていきたいものです。

### 市町村・保健所職員合同研修会

H17年度は「うつ・自殺対策」をテーマに、先進県の青森県より講師を招いて2月13日ビッグ愛にて開催しました。受講者は30名でした。

#### 【内容】

1. 「青森県におけるうつ病・自殺対策への取り組み」  
渡邊 直樹(青森県精神保健福祉センター所長)
  - 青森県の自殺の現状
  - 市町村における自殺予防システムの構築
  - ヘルス(セーフティ)プロモーション
  - 一次予防の実際
  - こころのケアナース養成モデル事業 他
- 2 「自殺・うつ対策の基礎」  
北端 裕司(所長)
  - 行政における自殺・うつ対策
  - 和歌山県での自殺の現状
  - うつ病について

### 障害者ケアマネジメント従事者研修

1月31日(火)～2月3日(金)にビッグ愛にて開催されました。講義形式が2日間、演習形式が2日間でグループにて相談演習からケア計画作成までを行いました。130名の方が参加されました。

### 障害者ケアマネジメント従事者上級研修

2月22日(水)～2月24日(金)にビッグ愛にて開催されました。講義形式が1日間、演習形式が2日間でグループにて個別事例の検討を行いました。33名の方が参加されました。

### 自立支援法に関する講演会及びシンポジウム

3月10日(金)に子ども・障害者センターにて開催されました。全家連江上さんから「自立支援法の総括と大切にしたいこと」のテーマで講演があり、シンポジウムは「精神障害の枠組みから3障害の枠組みへ」のテーマで行われました。60名の方が参加されました。

## 啓発

### こころのフェスティバルin熊野2006開催される

昨年度に引き続き2回目のフェスティバルが3月11日(土)那智勝浦町福祉健康センターにて開催され

ました。

(講演会)「その子、その子。ありのままに」

講師 岩崎順子氏

(シンポジウム)「障害あっても豊かな障害」

こころの病を持って多くの支援者に支えられながら生活していける社会の実現に向けて討論されました。

### 「不登校・ひきこもり応援マップ2005~06」

発刊される

不登校やひきこもりの子どもたちを支援している(NPO)レインボーハウスより、県内の支援機関を掲載したマップが発刊されました。記念イベントとして2月26日和歌山市にて不登校やひきこもりを経験者の話を聞くシンポジウムが行われました。

## お知らせ

### ひきこもり支援サークル とらいあんぐる 誕生

伊都地方でひきこもりの青年と家族を支援するために支援サークルが生まれました。相談、ひきこもりの人の居場所の提供や外出サポートを応援します。

(連絡先)

橋本市清水546

電話・FAX 0736(32)1705

代表 楠本さん

### 麦の郷・紀の川岩出地域生活支援センターが移転しました

岩出生活支援センターが2月1日下記の住所に新築移転しました。

紀の川市尾崎79-1

電話 0736(78)2808

FAX 0736(78)2807

### 思春期・ひきこもり相談

当センターでは毎月2回専門医による特定相談を行っています。ご利用下さい(要予約)。

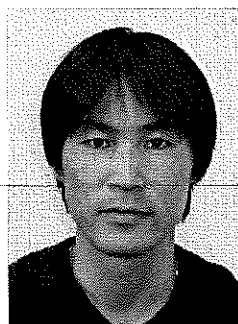
### 社会的ひきこもり者家族のつどい

同じ悩みを持つ家族が集い、情報の交換や客観的に自分の家族を知ること、互いに自分たちの問題を解決していく手だてが見つければという思いで、当センターにてつどいを行っています。詳しくは当センターまで。

### 和歌山県精神保健センター職員が3名増員されました。

4月より木皮主任、船所副主査、磯村副主査が加わり、職員が8名になりました。今年度より障害者自立支援法が施行され忙しい毎日です。当センターもパワーアップし県民の皆様のお役に立つようがんばります。

精神保健福祉の第一線で働く関係スタッフの紹介コーナーです。  
今回は、紀南障害者地域生活支援センターの相談員 北山雅史さんです。



## はーとふるネットワーク

— やおき福祉会に就職されて何年になりますか？紀南障害者地域生活支援センターでの勤務はどれくらいになりますか？

やおき福祉会に就職して、この春で3年目に入り、最初の勤務先が地域生活支援センターでしたので同じく3年目です。

— 相談員になられたきっかけは？

4年前に精神障害者小規模作業所に指導員として勤務し、2年前に退職した後、作業所で経験した事を生かしたいと思っていた時に、やおき福祉会が相談員を募集していて、その時に応募して採用されました。

— この仕事をしていて良かったと思う時はどんな時ですか？

30年近く長期入院してた方が、「最初は退院したいけど、それ以上に不安があり、悩んでいたが、定期的に関わってくれようになって自信が付き、退院出来て、今はすごくうれしい」と言ってくれた時は本当にうれしかったです<sup>^▽^</sup>。

— 仕事で苦労する点はどのようなことですか？

当事者の家族がこの病気に対する理解が低く、「ただ怠けるだけ」と言って協力してくれない事があり、その時にこの病気のしんどさやつらさを家族に分かってもらうまでが大変な時があります。

— 紀南障害者地域生活支援センターのPRを一言お願いします。

スタッフは全員で5人で、男性陣は微妙なイケメン3人で、女性陣は多分きれいな2人です<sup>^▽^</sup>。毎日の朝礼では人前で話す力を付ける為に当番制で一分間スピーチをしていて、必ず最後に”おち”がくるようにしていて、毎朝みんなで盛り上がっています！！

— 休日はどのようにして過ごされていますか？

目的地を決めずに、好きなボンジョビの曲を聴きながらドライブをしたり、近所に居てるゴールデンレトリバー二匹（さくら&もも）とじゃれあいながら格闘しています。

— 今後の抱負を教えてください。

自立支援法が施行され三障害の制度が法の下で統一されるようとしていて、今まで以上の役割が求められると思います。もっと幅広い知識を身に付け、常に柔軟な考えを持って取り組んでいきたいと思っています。

ただ、障害者に対して優しいばかりではなく、時には厳しく熱く接していけるような信頼関係を作っていきたいです！！

— 北山さんから、次の方のご紹介をお願いします。

今年の2月からハートツリーハウスに勤務している南秀樹さん（22才）を紹介します。サッカーがとても上手で出身の田辺市では有名人です<sup>^▽^</sup>。

### 研修等のお知らせ

#### ○ 社会復帰関連問題研修（ACTとSST）

日 時：H18年6月3日（土）  
場 所：和歌山ビッグ愛  
対 象：精神保健福祉関連従事者

#### ○ こころのレスキュー隊（CRT）研修会

日 時：H18年6月4日（日）  
場 所：県子ども・障害者相談センター  
対 象：関係者

#### ○ 精神保健福祉協会総会・こころのつどい

日 時：H18年7月14日（金） 13:30～  
場 所：和歌山ビッグ愛  
対 象：会員及び一般

#### ○ 精神保健関連新任者研修

日 時：H18年6月28日（水）  
場 所：和歌山ビッグ愛  
対 象：精神保健福祉関連従事者

#### ○ セルフヘルプセミナー

日 時：H18年6月25日（日）  
場 所：和歌山ビッグ愛  
対 象：一般

平成18年度研修として、他に「市町村職員研修」「思春期研修」「ひきこもり研修」「障害者ケアマネジメント従事者養成研修」「嗜癖関連問題研修」「こころの健康講座」等を開催する予定です。（詳細は決まり次第、お知らせします。）

### 編集後記

”わかやま”編集係を二年間担当させていただきました。何よりも編集を通して感じたことは、多くの方々との”つながり”でした。ありがとうございました。  
次号からの編集は北かずみが担当します。よろしくをお願いします。